

村山コレクション受贈記念展

茶

2021年11月13日(土)
—12月19日(日)



本展の後、香雪美術館(御影)の展覧会は、当面の間休止します。

開館時間: 午前10時~午後5時 ※入館は午後4時30分まで

休館日: 月曜日

主催: 公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社

入館料: 一般700(550)円、高大生450(350)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

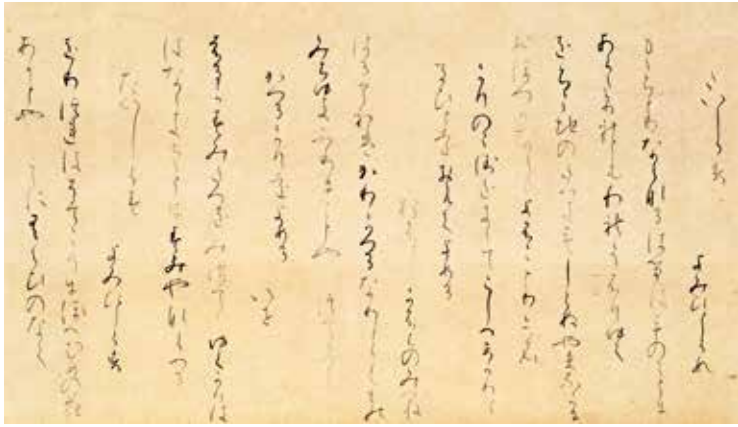
茶の湯と工芸

- Tea Utensils from the Murayama Collection -

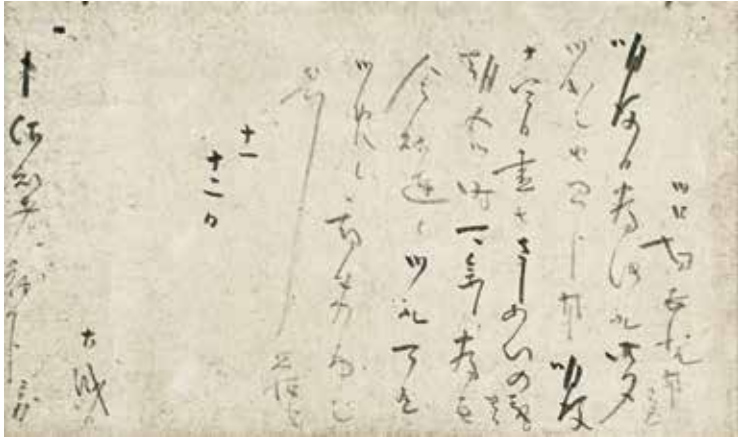
村山コレクション受贈記念展

茶の湯と工芸

-Tea Utensils from the Mureyama Collection-



伝紀實之 高野切 第一種 平安時代 11世紀



古田織部 藪内剣仲宛消息 桃山時代 17世紀



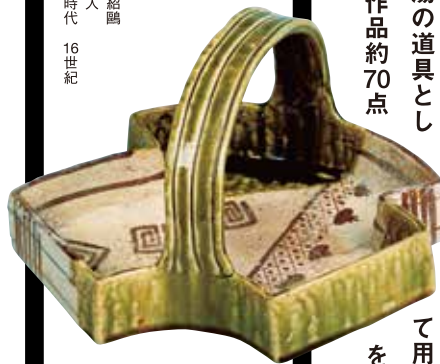
松島時絵硯箱 江戸・明治時代 19世紀



野々村仁清 灰釉透彫桜花文鉢 江戸時代 17世紀



武野紹鷗 竹花入 室町時代 16世紀



美濃 織部重扇手付鉢 桃山時代 17世紀



溜塗菊形茶器 江戸時代 18世紀

茶の湯では、茶席を飾るものや使用するものは等しく「道具」と呼ばれます。心を尽くした一服の茶を、主客がともに味わうための茶席には、掛物をはじめとして、花入、茶入、茶碗、香炉、釜、炭道具など様々な種類の道具が必要になります。香雪美術館は、総数1600点以上に及ぶ村山家旧蔵の日本・東洋の古美術、刀剣、茶道具のコレクションを、故村山美知子氏（1920-2020）より一括寄贈されたことを記念した展覧会を開催してまいりました。受贈記念シリーズ最終となる今回第4弾では、茶の湯の道具としての用いられる、陶磁器・漆器・木竹工・金工などの工芸作品約70点を紹介します。

関連イベント スライドトーク

11月20日(土)、12月11日(土)
午後2時より約30分(定員20名)当日先着順
※聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。
※場合により中止となることがあります。
当館ホームページをご確認の上、ご来館ください。

中之島香雪美術館の展覧会

企画展「中国の漆器」
2021年12月11日(土)～2022年2月23日(水・祝)

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel 078-841-0652 <https://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage/>

会場内では新型コロナウイルス感染症対策のため、来館時の検温、手指の消毒、入館票の記入、マスク着用、混雑時の入館制限等をはじめとする感染予防・拡散防止の取り組みにご協力ください。



[交通案内]
阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

表面作品左上から時計回り
・重要美術品 祥啓 楼閣山水図(部分) 室町時代 16世紀
・景德鎮窯 五彩雲鶴文鳳形振出 中国・明時代 17世紀
・景德鎮窯 赤絵獅子頭蓋置 中国・明時代 17世紀
・唐物 大海茶入 銘「唐大海」 中国・南宋～元時代 13～14世紀
・樂道入 黒染茶碗 銘「黄山」 江戸時代 17世紀

唐物 木耳籠花入 中国・明時代 16世紀



香雪美術館(御影)は、1973年の開館以来、所蔵作品を軸としたコレクション展や企画展を開催してまいりましたが、施設設備の改築工事に伴い、当面の間休館いたします。展覧会活動は、中之島香雪美術館(大阪市北区)において継続します。